

第25回日本近代仏教史研究会

研 究 大 会

プ ロ グ ラ ム

【シンポジウム】

近代法華仏教研究の新たな展開

場所：東北大学（川内キャンパス）

文科系総合講義棟（J棟）

日時：2017年6月3日（土）

第25回日本近代仏教史研究会研究大会 プログラム

大会長 佐藤弘夫（東北大学）

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。早速ですが、第25回日本近代仏教史研究会研究大会を、東北大学（川内キャンパス）を会場に下記の要領にて開催いたします。諸事ご多般のことと存じますが、ぜひご参加いただきたくご案内申し上げます。 謹白

日時：2017年6月3日（土）

場所：東北大学（川内キャンパス）文科系総合講義棟（J棟）

地下鉄東西線 国際センター駅・川内駅 下車 徒歩5分

受付開始：9:00（個人発表 発表20分・質疑応答10分）

参加費：1,000円（非会員および当日でも参加可能）、懇親会費：5,000円（要 事前申込）

（* 昼食は、キャンパス内の学食をご利用いただくか、各自でのご用意をお願い致します）

午前の部（文科系総合講義棟） 法学部 第2講義室		法学部 第1小講義室
9:30	ナサニエル・ガラント（ミシガン大学・院） 梵語学事始め ——慈雲の近代について——	栗本真好（元・花園大学大学院） 昭和史の黒幕たちと禅 ——田中清玄・四元義隆を中心に——
10:00	長谷川琢哉（親鸞仏教センター） 「大乘仏教」をめぐる言説形成 ——井上円了を中心に——	片岡英子（龍谷大学・院） BC級戦犯追悼の諸相とその実質
10:30	アロン・プロフィット （ニューヨーク州立大学オールバニ校） 仏教学と密教の近代化	君島彩子（総合研究大学院大学・院） 興亜から平和へ ——昭和前半期における観音像の変容——
11:00	簡冠剣（東北大学・院） 「支那通」の僧侶・水野梅暁と布教権への葛藤	牧野静（筑波大学・院） 宮沢トシの信仰と宮沢賢治の信仰
11:30	魚尾和瑛（大正大学・院） 窪川旭丈監督時代における ハワイ浄土宗の開教施策について	中川剛マックス（愛知学院大学・院） 明治・大正期における無我愛運動
12:00 ～ 13:30	休憩 運営委員会・評議員会（文科系総合講義棟ミーティングルーム2 [105]）	
午後の部（文科系総合講義棟） 法学部 第2講義室		
13:30	星野靖二（國學院大學） 九州における仏教演説 ——和敬会を中心に——	
14:00	渡辺健哉（東北大学） 東京帝国大学仏教講座開設構想とその背景 ——常盤大定の動向をてがかりに——	
14:30	谷川穰（京都大学） 昭和初期のキリスト教教育調査と仏教 ——Laymen's Foreign Missions Inquiry (1930-31) の滞日インタビュー記録から——	

シンポジウム 近代法華仏教研究の新たな展開 法学部 第2講義室

15:20	大谷 栄一 (佛教大学)	近代法華仏教研究の成果と課題 —とくに 2000 年代以降の研究史を中心に—
	ユリア・ブレニナ (同朋大学)	日蓮主義研究における新たなアプローチの試み —田中智学と本多日生にみる日蓮仏教の再解釈／再構築—
	ジャクリーン・ストーン (プリンストン大学)	戦時下における日蓮門下と「不敬」問題 —抑圧と抵抗の意義—
	佐藤 弘夫 (東北大学)	仏の消えた浄土 —日蓮と近代法華仏教の距離—
	コメンテーター： 岡田正彦 (天理大学)	司会： 安中尚史 (立正大学)
17:30	会員総会	
18:30	懇親会 (東北大学川内キャンパス キッチンテラス・クルール)	

シンポジウム「近代法華仏教研究の新たな展開」 開催趣旨

2000 年代以降、日本の近代仏教研究は新しいステージに突入したが、それを牽引してきたのは、清沢満之研究をはじめとした近代真宗研究である。では、他宗派の研究状況はどうなっているのだろうか？

本シンポジウムでは近代法華・日蓮仏教研究を対象とし、その成果を確認するとともに、新たな研究の展開を展望してみたい。たとえば、近年刊行された「シリーズ日蓮」全 5 巻 (春秋社、2014～15 年) のうち、第 4 巻の『近現代の法華運動と在家教団』 (西山茂責任編集) では、国内外の「近現代の法華運動」が網羅的に論じられ、第 5 巻の『現代世界と日蓮』 (上杉清文・末木文美士責任編集) では田中智学、清水梁山、高山樗牛、上原専祿、宮沢賢治等が扱われており、近年の成果の一端を窺うことができる。また、西山茂氏の単著『近現代日本の法華運動』 (春秋社、2016 年) も刊行されるなど、現在、当該領域の研究状況が活性化していることに気づく。

本シンポジウムでは、中世から近代の法華・日蓮仏教研究を専門とする国内外の研究者に登壇いただき、「近代法華仏教研究の新たな展開」について問題提起いただくとともに、今後の研究課題について議論できればと思う。

【シンポジスト】 (1 人 20 分発表)

大谷 栄一 (佛教大学・教授)	「近代法華仏教研究の成果と課題 —とくに 2000 年代以降の研究史を中心に—
ユリア・ブレニナ (同朋大学・講師)	「日蓮主義研究における新たなアプローチの試み —田中智学と本多日生にみる日蓮仏教の再解釈／再構築—
ジャクリーン・ストーン (プリンストン大学・教授)	「戦時下における日蓮門下と「不敬」問題 —抑圧と抵抗の意義—
佐藤 弘夫 (東北大学・教授)	「仏の消えた浄土 —日蓮と近代法華仏教の距離—

【コメンテーター】 岡田正彦 (天理大学・教授)

【司会】 安中尚史 (立正大学・教授)

【アクセスマップ】

東北大学（川内キャンパス）文科系総合講義棟

〒980-8576 仙台市青葉区川内 27-1（川内南）

地下鉄東西線 国際センター駅・川内駅 下車 徒歩 5 分

<http://www.tohoku.ac.jp/japanese/profile/campus/01/kawauchi/>

